BAND SCORE

WHITESNAKE

Best

WALKING IN THE SHADOW OF THE BLUES

ザ・シャドー・オブ・ザ・ブルース

Words & Music by David Coverdale and Bernie Marsden

これぞホワイトスネイクというナンバー。ギターとオルガンによるリフをしっかりと出していくように。まずここで注意しなければならないのがリズムで、決してハシることは許されない。あくまでもブリティッシュの重たさ！を感じるようにプレイしよう。ギターは[A]では単音のリフを弾いている。ここでは絶対走らないこと。そして歌に入ってからはダブル・ノートのリフを中心に組み立てられている。難しくはないがしっかりヴォーカルを盛り上げるように弾きたい。そして、ソロも見逃せない。基本的にはメロディアスなもので、1～6弦をくまなく使っている。音色は太いオーバードライブの感じで、多少スキ間を感じさせるサウンドが特徴。この当時のギタリスト（バーニー・マースデン＆ミッキー・ムーディ）はルーツがブルースなわけで、目新しいテクニックというより、チョーキングやヴィブラートといったテクを大袈裟に表現していく方がいいだろう。[I]の直前2小節は、ヴォリューム奏法である。メインのコードはGマイナーであるが、3度の音を入れないロック・スタイルで考えてほしい。ドラムはハイハットに特徴がある。拍頭にアクセントを持っていき、8分より4分打ちに近いものとしてとらえよう。[C][G]のハイハットはオープンである。バスドラはシンプルに重たく、エンディングのドラムは"スタタドン"という時間差で叩くと良いだろう。ベースは他の楽器よりハネている感じが強く出ているが、テンポ的に前に出過ぎるのにも気をつけよう。D.S.後の[C]のヴォーカルは完全なフェイクなので、譜面に表さなかった。よく聴いてニュアンスを掴んでほしい。[D]のバッキング・コーラスはかなりキーが高いので、出来なければ省略してもいいだろう。

G
Gm
B♭
F
Gm
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
Port. c
10
Gm
B♭
F
Gm

H

C | | Gm

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

Gm | C |

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

B♭
F
C
B♭(on C)
I
Gm
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
Gm
F
I love the
D.S.

AIN'T NO LOVE IN THE HEART OF THE CITY

ハート・オブ・ザ・シティ

Words & Music by Michael Price and Daniel Walsh

『ライヴ・アット・ハマースミス』からのテイク。バンドと聴衆の一体感が素晴らしい1曲。冒頭にジョン・ロードの短いソロがあり、[A]へと流れていく。ギターは当然2本で、左右に振り分けられている。因みにGt-1が右側、Gt-2が左側となっている。[A][B]では2本ともユニゾンでリフを弾いている。[C]からはGt-2がカッティングにまわっている。カッティングのハンマリングはタブ譜にあるように1～4弦の12ｆを人差指で押さえ、中指、薬指でそれぞれ2弦13ｆ、4弦14ｆをハンマリングするといった流れ。Gt-1は[F]のソロを、Gt-2は[I]のソロを受け持っているが、どちらも非常にブルース色の強い、チョーキングを多用したエモーショナルなプレイだ。特にGt-1は、5連符、6連符や32分音符の入ったフレーズ等かなり細かい音符が目白押しであるが、まず音を耳で聴いてニュアンスをよく掴み、譜面で音やポジションを確認していこう。ベースは譜面を見ての通り、全編にわたって自由なプレイをしている。定まったパターンはあまり使われてなく、それにともなってドラムもかなり自由に叩いている印象だ。[D]の部分は2コーラス目からコーラスが加わるが、1コーラス目の歌と若干メロディが違うので注意しよう。ほぼ[G]と同じなので参考にしてみてほしい。[H]のヴォーカルはフェイクのみで、主旋は聴衆によって歌われている。イントロのキーボードは譜面にこだわり過ぎなくてもいいだろう。

Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
Dm7 Am7 D Am7 D
Ain't no lo - ve in the heart of to - wn Ain't no love su - re is a
16
Am D Fmaj7 Dm7 Am7
pi - ty Ain't no lo - ve 'Cause you ai - n't arou - nd Now ba - by since you're been a - round

Dm7
Am7
D
Am7
D
Vocal
Ain't no lo - ve in the heart of to - wn
Ain't no - love sure enough is a
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
18
Am7
Fmaj7
Dm7
1.
Am7
pi - ty - - - -
Ain't no lo - ve 'Cause you ai - n't arou - nd
E - very

Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
G
to Φ
F
C
E
2.
Am7
ci-ty ha--ll
Ba-by to the coun-ty li-ne
-nd
Baby
Ooh ba-by
F
Am7
D
Am7
Dm7

G
Am7
D
Am7
Dm7
Am7
Vocal
Ain't no love in the heart of the ci - ty
Ain't no love in the heart of to - wn
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
22
Am7
D
Am7
Dm7
Am7
D
Ain't no love sure enough is a pi - ty "gon - na sing it" Ain't no love 'Cause you ai - n't arou - nd "sing for me Lon-don sing"
(Harm.)
C
(Harm.)
C

2.
Am7
D
I
Am7
D
Am7
Vocal
" God bless play it play it "
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
Dm7
Em7
Am7
D
Am7
D

Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
Am
Am7
D
Am7
wn
Ain't no love
sure enough is a pi - ty
26
Dm7
Em7
Dm7
Am7
C D
Ain't no lo - ve
'Cause you Ai - n't around
'Cause you ain't a - round
Oh yeah Ooh yeah Ooh yeah Oh yeah
rit.

FOOL FOR YOUR LOVING

フール・フォー・ユア・ラヴィング

Words & Music by David Coverdale, Bernie Marsden and Micky Moody

ホワイトスネイクを演奏する上では避けては通れない１曲。後には“ヴァイ・ヴァージョン”もあるが…ここではオリジナル・テイクを掲載してみた。ハモンド・オルガンに続いてギターのメイン・リフから曲はスタートする。ミディアム・テンポの８ビート・ナンバーである。ここではハモンドがキーボードとして使われているが、シンセで同様のサウンドを再現しても決して構わない。ただし、クリーンな音使いになり過ぎないように気をつけよう。Introのギター・リフは当然２本で弾いているが、完全なユニゾンではない。微妙な違いが個性となり、曲の雰囲気にぴったりとハマッているという感じだ。ベースは８分音符を弾いているが、時々16分音符のフィル・イン・フレーズを入れているので注意しよう。基本リズムは８ビートでも、こういった細かい16分音符を正確に弾くことがノリをキープするのに大変重要なのである。ドラムのパターンもシンプルなものが多いが、ハイハットのオープンとクローズのメリハリを付けて叩くことが大事。また、ベイスお馴染みのシンコペーションの部分も気をつけよう。Bの３～４小節目で弾いているギター・フレーズは、指を使ってピッキングするといいだろう。Dのギター・ソロは決して難しいフレーズではない。どれもＧのペンタトニック・スケールを基にしたオーソドックスなものだ。しかし、逆に丁寧に弾いてもらいたいところでもある。

Gm
B♭
F
C
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
yeah oh
Mum
I was born under bad sign
left out in the cold
A

Gm
B♭
C
Gm
B♭
F
Vocal
ache
and turned it to shame
Now I
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
30
mov - in mov - in on
and I ain't tak - ing the blame

C
E♭
F
Gm
D
Dm
Cm
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
fool for your lov - ing no more
A fool for your lov - ing no more
So tired of try - ing I al - ways end up try - ing
fool for your lov - ing no more
32

1.
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
Gm B♭ C B♭ Am F Gm B♭ C Gm
I'm tired of hid - ing my feel - ings
you left me lone - ly too
Gm B♭ F Gm B♭ C Gm
long
I gave my heart and you tone i - t part

Gm
B♭
C
Gm
B♭
F
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
36
E
E♭
F
Gm
Oh

SLIDE IT IN

スライド・イット・イン

Words & Music by David Coverdale

同アルバムのアメリカン・リミックス・ヴァージョンからのナンバー。というわけでギター・ソロやベースはジョン・サイクスやニール・マーレイに替わってのテイクなので、気をつけよう。曲調は、アメリカンな雰囲気も感じさせるギター・リフとも相俟ってポップなものとなっている。Introのギター・リフがこの曲のメイン・リフとなっている。Aのコードでは2～4弦2fを人差指でジョイントして押さえ、Dのコードでは2～4弦の7fを人差指でジョイントしておき、AのコードではBm7を押さえるように2弦3fを中指、4弦4fを薬指、DのコードではEm7を押さえるように2弦8fを中指、4弦9fを薬指というようなフォームを使ったコード・カッティングになる。ここでは不要な弦、特に1弦の音は鳴らさないように注意した方がいい。また、休符をしっかりと意識して歯切れ良くする為にミュートを上手く使ってコントロールしよう。Bはintro、Aと同様のパターンだが、休符の替わりに5弦開放のA音のミュートを行なうというプレイ。ミュート部分とのメリハリを付けることが重要だ。CはGt-1、Gt-2共にリズムを強調したコード・バッキングだが、Gt-1は低音を意識したもの、Gt-2は高音を意識した和音とに分かれている。原曲では1本のパートのようにも聴こえなくはないが、とりあえず、分けてみるとこういう感じだろうということ。ギター1本でコードを鳴らしてもOKだろう。EのGt-2はジョン・サイクスによるソロ・パート。7小節目の1、2拍目でのフィンガリングは悩んだが、1拍目の2弦10f～12fへのスライドは薬指（or小指）で、2拍目の2弦10f～12fへのスライドは人差指という、ちょっと忙しいフィンガリングにしてみたがどうだろう…。続くフレージングを考えると、これがいいと思う。11、12小節目での下降&上昇フレーズもフィンガリングをよく考えてスムーズになるように気をつけよう。ベースとドラムはタイトなリズムをキープしていくコンビネーションがポイント。

A
D
A
D
Vocal
writ-ten on your face
games you play
An' in the words you hide be-hind
Make it so eas-y to see
I
You're
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
40
B
A
D(on A)
A
D(on A)
know what's you want
look-ing for love
I can see what you're look-ing for
Tho' you try to de-ny
I
The

G D A D G D(on F♯) G to Φ 1. D(on F♯) G
Vocal
Slide it in right to the top I'm gon - na slide it in slide it in slide it
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
42
D
A D A G 2. D(on F♯) C D
in ba - by woo
Some - it in

E

G | D(onF♯) | Em | C D

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

G | D(onF♯) | Em | C D

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

G
D(onF♯)
Em
C
D
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums

Coda
D(on A)
D(on F#)
G
D
A
D
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
I'm gon - na
it in slide it in right to the top
D.S.
G
Slide it in I ain't nev - er gon - na stop
Slide it in right to the I'm gon - na

SLOW AN' EASY

スロー・アンド・イージー

Words & Music by David Coverdale and Micky Moody

ブルージーなニュアンスを強調したホワイトスネイクらしいナンバー。キーが設定しにくかったが、とりあえずGmを基本としたキーで表記してある。また、イントロやエンディングはキーボードに任せたフリーなテンポでOK。ギターは基本的に2パートで、Gt-1はオープンGチューニング（6弦からDGDGBD）でボトルネックを使ったスライド・プレイを中心としたもの（都合上[G]のソロはレギュラー・チューニング）、Gt-2はレギュラー・チューニングでのものとなっている。Intro②のGt-1はこの曲でよく出てくるスライド・プレイでのリフ。テンポが遅くならない程度にゆったりと軽い感じでプレイ出来るとベストだ。[C]の3、4小節目もよく出てくるリフ。Gt-1とGt-2ではチューニングが違うのでタブ譜も異なってくるが、休符を意識して歯切れ良く弾こう。Gt-2の3小節目のカッコ内はちょっと不明だが、3弦5fでのハーモニクスをアーム・アップさせるというニュアンスが近いと思うのだが、実際やってみると弦が切れやすいので注意しよう。[D]はサビのメロディをなぞった感じでのシングル・ノート・リフ。Gt-2は1小節目の1拍目のヴィブラート、2小節目2拍目のクォーター・チョーキングをしっかりとチェックしておこう。[G]のGt-1はレギュラー・チューニングでのソロ。5、7、8小節目でのフィンガリングをよく考えてプレイしよう。10小節目3弦12fへのグリスはブリッジ側から薬指で12fへグリス。ベースはコードのルート音を中心としたシンプルならいんがメインだが、ギターとのユニゾンの形も多いので、リズムをキチッと揃えるようにしよう。ドラムはビートを刻まない部分（[B][C]等）でのテンポの乱れ、他のパートとのコンビネーションに気をつけてプレイしよう。

C
G5
Vocal
know you drive me cra - zy child An' I just wan - na see you on the floor I wan - na
You keep on lov - ing me Like I've nev - er known be - fore I wan - na
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
D
F
C
1.
G5
su - per - sti - tious wom - an An' she get a su - per - sti - tious mind
su - per - sti - tious wom - an With a su - per - sti - tious
(1x Tacet)

B♭
G5
C
G5
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
My heart is beat-ing fast - er babe It's beat-ing like a big bass drum
I don't care a-bout Oh I don't care a-bout no more
Another Guitar
Arm. Up
1x
2x
52
G5
C
You know you got me speed - ing child Fast - er than a bul - let from a gun
The way you keep a - bus - ing me Oh love a -
<Another Guitar>
8va

C(on G)
Gm
B♭(on G)
G
me slow an' eas - y
I know that hard luck an' trou - ble is
com - ing my way
So rock me 'til I'm burned to the bone
F
C
G5
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums

F
C
to Φ F
G
F
C
Vocal
Rock me 'til the burned
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
2×
G
F
C
G
F
C

G B♭ C [G] D C G

Vocal

Other

Regular Tuning

8va

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

D C G D C G

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

D
C
G
F
G
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
F
G
H
C
So take me down slow an' eas - y
Make love to
(Regular Tuning)
(8va)

G
F
C
G5
Vocal
hard luck an' trou - ble is com - ing my way
So rock me 'til I'm burned to the bone
So take me
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
D.S.
Coda
G5
to the bone

B♭ G5 B♭ G5

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

Free Tempo

G5

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

LOVE AIN'T NO STRANGER

ラヴ・エイント・ノー・ストレンジャー

Words & Music by David Coverdale and Mel Galley

ホワイトスネイクの中でも名曲といえるナンバー。静かなシンセのバッキングから始まるメロディアスな１曲。ギターはディストーションの掛かったものをGt-1、アコースティック・ギターをGt-2にそれぞれ分けてある。Bのgt-2はアコースティック・ギターによるアルペジオ・パターンで、ベースのラインとコードのアルペジオを組み合わせたような感じのプレイとなっている。１小節目の６弦の２ｆと３ｆは親指で押さえると弾きやすいだろう。DのGt-1はパワー・コード（ルート＆５度）にルートのオクターブ上を加えたフォームでのコード・リフ。符割のように16分の感覚で音を切り気味にした方が、歯切れ良いリズムが出せるのではないかな。HのGt-2はBと同様のアルペジオ・パターンだが、多少符割が異なっているので注意しよう。Gt-1はソロ・パート。１小節目のチョーキングはポルタメント気味にしてやると良い。３、４小節目は３弦上での横の動きとなるフレージング。４ｆが人差指、６ｆと７ｆが薬指、４ｆから２ｆへのスライドが人差指、で最後の４ｆが薬指という流れになる。５小節目はライト・ハンドをワン・ポイントで使った技。３弦９ｆをチョーキングし、ベンドしたままの状態で、３弦14ｆ上を右手人差指等でタッピングするというものだ。10小節目の４拍目は１音半のチョーキングなので、音程には気をつけること。JのGt-1はアコースティックのアルペジオとのユニゾン。フレーズがフレーズだけに歪みを押さえ、少しモジュレーション（コーラス等）を使うといいと思う。ベースはシンプルにギターをなぞるような形でのライン。シンコペーションのタイミングには気をつけること。ドラムはシンプルな８ビートのパターンだが、２／４拍子を挟んだ部分などでリズムを数え間違えたりしないように注意しよう。

B
D(onF♯) G A Bm7 D(onF♯) G A Bm7
Vocal
- ger
woom
Other
Guitar I
Guitar II
H
Bass
Drums
64
C
D(onF♯) G A Bm7 D(onF♯) G A Bm7
I looked a - round an' what did I see
Who knows where the cold wind blow
Brok - en heart - ed peo - ple star - ing at me
I ask my friends but no - bod - y knows

G D A G D A
Vocal
I ain't no stran - ger
Love ain't no stran - ger
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
G D
to Φ 2
1.
A
G Bm A Bm A Bm
I ain't no stran-ger to love
no no no

Bm A Bm A E

2. A

Vocal

Can't hold the I ain't no stran - ger to love

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

H

D(on F♯) G A Bm7 D(on F♯) G A Bm7

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

D(onF♯) G A Bm7 D(onF♯) G A Bm7
Vocal
Other
(↓=Right Hand)
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
D(onF♯) G A Bm7 D(onF♯) G A Bm7
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums

D(onF♯) G A Bm7 D(onF♯) G A

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

A

Coda ①

Em A

Lord have mer - cy Love ain't no

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

D.S. ①

I
Bm A Bm
A Bm
A Bm A
E
Vocal
stran - ger
I ain't no
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
72
Bm A Bm
A Bm
A Bm A
Vocal
stran - ger
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums

D(on F♯)
G
A
Bm7
D(on F♯)
G
A
Vocal
stran - ger
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
A
Bm7
I ain't no stran - ger

CRYING IN THE RAIN

クライング・イン・ザ・レイン

Words & Music by David Coverdale and Bernie Marsden

『サーペンス・アルバス』からのセルフ・リメイク。最初のヴァージョンとは感じが変わっているが、いい意味でHM色を出しているサウンドになっている（サイクス加入後のライヴでは既にこのパターンで演奏していた)。曲は12／8拍子である。どのパートも間の長い感じがするが、しっかりと間を掴んでムラのないプレイを心掛けよう。バスドラはツーバス（orツイン・ペダル）を使っているので、ベースとの呼吸には一層気を使おう。ギターは休符の感じをしっかり出して。Ⓐからのギターはねちっこさを出したフィーリングでいこう。ヴィブラートは思い切り掛けて弾こう。ギターは1人でも弾けないことはないが、出来れば2人で再現して厚みを出してほしいところ。ベースは基本として8分のフレーズが中心。Ⓔの4小節手前では、ショート・ディレイを掛けて音に厚みを出していることに注目。更にオルタネイト・ピッキングのコンビネーションには注意しよう。そして2小節手前からはいよいよソロ。ここは速弾き×2ぐらいなので、リズムが乱れないように。とにかく練習あるのみだ。さらに、ここでもショート・ディレイを掛けて、速弾きをより速く弾いているように感じさせる効果を見せていることがポイントだ。ハンマリングを上手く使おう。ここでのベースはギターのサポート的役割だが、リズムが単調であるけれどしっかりとリズム・キープをしてほしい。と同時にドラムはそのベースとしっかりとコンビネーションを合わせてほしい。ツー・バスの感じをしっかりと出していこう。ワン・バスのプレイヤーは速打ちなどをして、出来るだけツー・バスの雰囲気に近付けよう。キーボードはオルガン系のサウンドでプレイしている。ただし、ⒺとⒻでは音色を少し使い分けたほうが良さそうだ。Ⓕのドラムはメインとなる部分なので、パワフルなノリを心掛けよう。

Em
C Bm Em
Vocal
A wom-en goes cra - zy with the thought of ret - ri - bu - tion
But a man starts weep - ing when he's sick and ti - red of life
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
76
Em D Em C D
Em D Em C D

Em
Vocal
can - dles in the wind
com - ing back for more more more
Al-ways tak - ing my chan-ces on my prom - ise of the fu - ture
I know where I'm go-ing There's (no) hope of ab - so - lu - tion
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
78
Em
But a heart full of sor - row paints a lone - ly ta pes-try
I can't seem to sep - a - ra - te The good times from the bad
B
Am
G
Am
The sun is shin-ing

Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
D
C
Em D Em C D
When you're Cry - ing In The Rain
When you're Cry-ing In The
H
2x
80
Em D Em C to Φ D
1.
D
Em Em(onD) Em(onC♯) C Bm
Rain
Cry - ing In The Rain
Pick Scratch

Em Em(on D) Em(on D♯) C Bm

2.

D

Vocal

When you're Cry - ing ___ In The

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

Em D Em C D

Rain

When you're Cry - ing ___ In The Rain

Em D Em C D

No No

D
E
Em
Vocal
No
Other
<Organ>
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
Em
D

Am C

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

C D Em

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

D
C
Am
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
H
H+P
C
D
P
vib.
84
Am
C

Am

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

Em

Vocal

Other

Guitar I

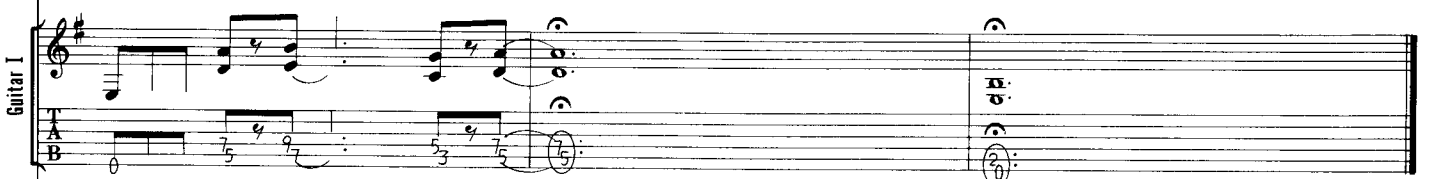
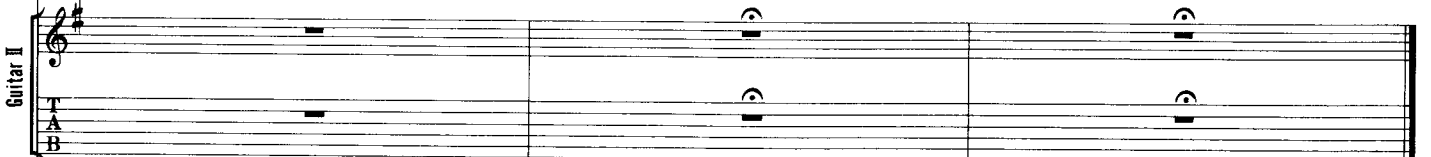
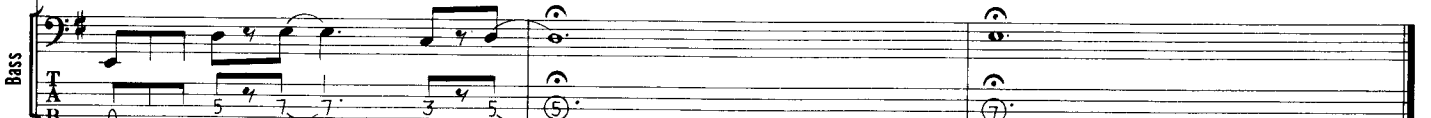
Guitar II

(8va)

Bass

Drums

Am
Bm
C
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
D
F
Em
D
Em
C
D

Coda
D
Em
D
Em
C
D
Vocal
When you're Cry - ing In The Rain
When you're Cry - ing In The
Other
Guitar I
T
A
B
Guitar II
Bass
Drums
Em
D
Em
C
D
Rain
Cry - ing In The Rain
Cry - ing In The Rain

STILL OF THE NIGHT

スティル・オブ・ザ・ナイト

Words & Music by David Coverdale and John Sykes

80年代のホワイトスネイクを語る上では外せない1曲。某ＬＺの“Ｂ・Ｄ”に似ているなどと言われても、是非トライしてほしい曲だ。しかし、曲自体が長いことと、展開が何度か変わるなど、バンドで演奏するにはクリアしなければならないハードルは幾つもありそうだ。ギターはハードなディストーションとディレイによって分厚いサウンドを作っている。長い曲中で、様々な弾き方が登場するので、よく聴いてしっかりツボを押さえておこう。曲頭から印象的なリフが登場、しっかりと音を延ばしていこう。歌に入ると休符を絡めながらリフは続く。Ａ4小節目からはシングル・ノートによるインパクト十分のリフ。5弦2ｆから始まるその頭の音はピッキング・ハーモニクスが出てしまうくらい力強くピッキングしよう。ここではベースもギターとユニゾンでプレイしている。バックのドラムがシンプル一筋で弾いているだけに、ベースも力強く小気味良い動きでいこう。Ｅ8小節目では、ベースは和音を弾いている。親指と人差指で挟むようにしながら弦を持って弾く。ここでは キーボードは幻想的ともいえるサウンドを鳴らしている。フェイド・インしてくるヴォイス系のサウンドがいい味を出している。Ｆ8小節目からのギターはヴォリューム奏法だ。ペダルかギターのつまみを上手く使って弾こう。13小節目からはコーラスとロング・ディレイを掛けてクリアで滑らかなサウンドにしている。Ｇでのキーボードはストリングス系の音を入れている（あのビデオではエイドリアンがヴァイオリン奏法を演っていたが、実際はそんなはずはなく、思わずジミーもベッドから転げ落ち大爆笑だったらしい）。ベースは開放を使ったプレイだが キレを出すために瞬間的にミュートをしなければならない。Ｈ9小節目からは怒濤のギター・ソロへ。トリッキーなアーミングから6連符に入る時はリズムをしっかりとキープすること。ハンマリングとプリングを上手く使って重厚かつ滑らかなフレーズを聴かせるように。

F#m
E F#m
A
F#m
E F#m
In the
Still Of The Night — I hear the wolf howl — ho-ney
Sniff-ing a-round — your door —
In the
shad-ow of night — I see the full — moon rise
Tell-ing me what's — in store —
My heart
heat of the day — I hang my head down — low — (An') hide my face from — the sun —
Thru the
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
2x, D.S.x
F#m
N.C.
to
Still Of The Night — I feel my heart beat-ing hea-vy
Tell-ing me I got-ta have — more —
start ach-ing My bo-dy start a shak-ing An' I
can't take no more —
light of the day Un-til the evening time I'm
wait-ing for night to — come —
D.S.x
P
H+P

D
C
A
Vocal
Now I just wan-na get close to you (An') taste your love so sweet An' I just wan-na make love to you
B
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
92
A G
F
Em
Feel your bo-dy heat In the Still Of The Night

Em D Em D

Vocal

In the Still Of The Night

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

D N.C. F#m Bm N.C. Bm A

Vocal

In the

Other

Guitar I

P P H+P P

Guitar II

Bass

Drums

D.S.

Coda
Em
D
Em
Vocal
Woo
ba - by
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
Em
D
E
D
C
In the Still Of The Night
In the cool moon - night
I feel my heart

Am

Em

Vocal

___ is ach - ing In the Still Of The Night___

Other

Guitar I

H

Guitar II

Bass

Drums

Em

D

F C

Vocal

Other

<Synth. Voice>

Guitar I

Arm.

Arm.

Guitar II

Bass

Drums

C
D
Em
Vocal
- by
Oh
ba - by
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
96
Em
D
Em
D
C

C
D
Em
Vocal
can't keep a - way
No
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
98
Em
D
Em
D
C
I can't keep a-lone
can't keep so long ev-ery-day

C D Em

Vocal

can't keep away

Other

<Another Guitar>
8va Harm.

Guitar I

Harm.

Guitar II

Bass

Drums

G
Em
<Glocken.>

Vocal

<Strings>

Other

8va bassa

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

Em
C
D
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
100
Em
D
C

C D Em

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

Em 8va H Em D(onE) G(onE) D(onE) C D

Vocal

<Guitar>

Other

(8va bassa)

Pick Scratch

Guitar I

Pick Scratch

Guitar II

Bass

Drums

G(onB) D(onE) Esus4 F(onE) Em D(onE) G(onE) D(onE) C D
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
vib.
102
G(onE) D(onE) Esus4 E Em D(onE) C(onE) D(onE) C D
Arm.
Arm.

I
N.C.
F#m
Bm
N.C.
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
N.C.
Bm
A
J
F#m
Em F#m
In the Still Of The Night I hear the wolf howl ho-ney Sniff-ing a-round your door In the

Em
D
C
G(on B)
Am
G
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
F
Em
D
C
G(on B)
In the Still Of The Night

HERE I GO AGAIN

ヒア・アイ・ゴー・アゲイン

Words & Music by David Coverdale and Bernie Marsden

ホワイトスネイク全米制覇を成し遂げた会心の１曲。元は『セイント＆シナーズ』に収録されていた曲を再びセルフ・リメイクしたもの。Ｒ＆Ｂテイストのバンドのイメージを感じさせない、静かなシンセのイントロからこの曲は始まっている。ここでは複数の音源が同時に鳴っている。MIDI等を上手く使って、再現出来ればＯＫだ。ヒューマン・ボイス風のサウンドの他、エレピ風サウンドをメインで弾いている。これらの音にはデジタル・エフェクターとしてコーラス系のものが使われていて、広がりを持たせている。更にイントロからⒶの部分にかけてピアノの低音も鳴っているが、これもリヴァーヴ処理されたもので、生のピアノの音とはだいぶ違った感じになっている。これは、サンプリング・キーボードやデジタル・ピアノ等を使うといいだろう。Ⓑの直前の小節からギター、ベース、ドラムがスタートしている。ここからはディストーション・サウンド満載の演奏である。ドラムはパワフルな８ビート・パターンだが、バスドラは16分音符を意識して、正確なリズムで演奏しよう。Ⓒ１～６小節目のギターはディストーションさせずに、クリアなサウンドでのプレイ。ここではエフェクターとしてコーラスも掛けられている。Ⓓの２小節目、ギターの譜面で○印が付けられている音は、ピッキング・ハーモニクスを行なっているものだ。これは、ピッキングをすると同時に右手の親指を弦に当てるようにしてハーモニクス音を鳴らすものだ。ここでは思い切りハデにヴィブラートを左手で掛けてみよう。この部分のドラムは６連符を使ったフィル・イン・フレーズを多く叩いているが、エインズレー・ダンバー（決してトミー・アルドリッヂではありません）のようにパワフルに叩きたい。Ⓔのギター・ソロはディストーションといってもソフトな感じを出している。このあたりはサイクスではなく、エイドリアンによるプレイのせいかもしれない…音の運びとタメが実に素直だと思う。

Am
1.
D
C
D
C
G
C(onG)
D(onG)
I ain't wast - ing no more time
I'm just a-no-ther heart in need of res - cue
Vocal
Other
Keyboard
Guitar
Bass
Drums
<Synth.>
G
C(onG)
D(onG)
G
D(onF♯)
Em
C
G(onB)
Waiting on love's sweet chari - ty
An' I'm gon-na hold on For the rest of my days
<Synth.>
H.C+D

Am
Em
Am
Em
Vocal
Hear I go a-gain
Here I go
Other
Keyboard
Guitar
T
A
B
Bass
Drums
6
3
Am C D
E
G
C(onG) D(onG)
G
C(onG) D(onG)
<Synth.>
vib.
C D

SLIP OF THE TONGUE

スリップ・オブ・ザ・タング

Words & Music by David Coverdale and Adrian Vandenberg

アッと驚くスティーヴ・ヴァイ加入のアルバム『スリップ・オブ・ザ・タング』からのタイトル曲。S.E.からIntro①へと流れていく、重厚なシンセからブラス系のファンファーレのようなコード・パターンでスタートする。ギターやベースも白玉で参加しているが、リズムがピッタリと揃うようにしたい。Intro②からこの曲のメイン・リフになっている。かなり細かい16分のパターンなので、リズムにはくれぐれも気をつけよう。特にドラムのキックは、ダブル・ペダルを使って、正確な16分音符をキープしよう。Intro②の2小節目のギターは、ハーモニクス奏法を行なっている。タブ譜の位置を左手で軽く触れるようにしてピッキングすればいいのだが、スピードが速いので右手のピッキングは正確に行なうようにしよう。なお、ギターはほとんどユニゾンで重ねられている。いわゆる"ダブリング"の効果なのだが、これはヴァイのギター・レコーディングの特徴でもあり、ホワイトスネイクというバンドを意識しての演奏でもあるわけだ。また、ピッキング・ハーモニクスを多用していることも特徴だが、これは譜面では音の上に○印が付けられている。Ⓐの5小節目からのギターはアルペジオである。ここは低音部と高音部のサウンドが少し違っている。オーバー・ダビングによるものだろう。Ⓑの4小節目やⒽのギター・ソロの部分では、ライト・ハンドもプレイしている。これは↓の付いた音を右手で押さえるようにしてプレイするもの。

Intro②
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
A(onF#) E(onF#) D(onF#) C(onG)
Dsus4(onD)
D(onA)
Em
D
A(onC#)
C
G(onB)
Pick Scratch
(8va)
8va Harm.
(o = Pickin' Harm.)
vib.
1.
2.

𝄋 ①② (Straight to 2.)

A

Vocal — Bm | D | Bm | F#m (on A)

Some-time af-ter mid-night ___ The heat be-gins ___ to rise
Girl, you'd shame the De-vil with the look that's in ___ your eyes

Creep-ing up be-hind ___ me ___ Knock-ing at ___ my door
(I'd) ne-ver be too blind ___ to see just what you're look-ing for

An' it I want a ___ little love I gotta take a ___ lotta pain
Make me think a thou-sand times ___ Before I kiss ___ a-gain

(The) sun is slow-ly ris-ing ___ An' (I'm) sit-ting to ___ my knees
(I'm) dy-ing just to close ___ my eyes ___ I'm beg-ging, darlin' please

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

Vocal — B | A | E (on G#) | 1. A

I know what's on your mind ___ (I) can't run a-way, ___ (If) I don't give you what you want ___ there's gon-na be som'e ___ hell to
You roll me o-ver make me moan Ooh, such a vel-vet touch You'd
I'm wait-ing on you every day an' eve-ry night ___ (If) I don't try to satis-fy ___ There's
I hear you call-ing An' I'm crawl-ing 'cross the floor (I) give you eve-ry-thing I got An'

Other

Guitar I — vib. P P

Guitar II — vib. P P

Bass — P P P

Drums

B
Em D A(on C#) C G(on B) Em D Am(on C#) C G(on B)
Vocal
pay
Other
Guitar I
8va Harm.
H+P with R.H.
8va
Guitar II
Bass
Drums
2.3.4.
G
C
F#m
melt a heart of stone
gon-na be a fist fight
still you ask for more
Arm.
8va
H
P

Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
C D to Φ ② E Bm D A E D Bm D A
Is just a slip of the tougue
Oooh
8va
A G D Bm D A E D to Φ ① G
just a slip
(8va)

Coda ①
G
D
E
Vocal
slip
of
the
tongue
Other
Guitar I
Pick Scratch
Guitar II
8va
Bass
Drums
G
F#m
B(on F#)
D(on F#)
E(on C#)

D(on F#)
E(on F#)
F#
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
(P+H with R.H.)
128
G#(on F#)
I
E
(8va)

E F#

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

E [J] Em D A(onC#) C G(onB)

Vocal

Other

Guitar I

8va Harm.

Guitar II

8va Harm.

Bass

Drums

Coda ②
K
L
Em
D
A(on C#)
C
G(on B)
B
C(on E)
D(on F#)
tongue
a slip of — the
tongue
just a slip of — the
tongue
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
8va
D.S.②

A(on C#) C G(on B) Em D A(on C#) C G(on B) Em D(on F#) G A D(on A)
Vocal
Slip of the tongue a slip of the ton-gue Ah ah
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
132
Em D A(on C#) C G(on B) (N.C.) Em
ah
8va Bassa
(8va)

WINGS OF THE STORM

ウイングス・オブ・ザ・ストーム

Words & Music by David Coverdale and Adrian Vandenberg

時計のノイズのようなS.E.に続いて、ギターのチョーキング＆ヴィブラートからこの曲はスタートする。このチョーキングは３本のギターが重ねられている。ヴィブラートのタイミングまでピッタリである。Introのリフは16分で、これも２本のギターがユニゾンだ。健消炎のためプレイ出来なかったエイドリアンを念頭に置いて、ヴァイがプレイした逸話は有名だ。リフはしっかりとオルタネイト・ピッキングで正確に演奏出来るようにしよう。ベースやドラムは８分のところもあるが、ノリは完全に16分だ。常に16分音符を意識した演奏を心掛けよう。時々バスドラは16分音符でフィル・インしている。ダブル・ペダルを使って再現しよう。Ⓐ のGt-2はクリアなサウンドでアルペジオを弾いている。コーラス系のエフェクターかデジタル・ディレイを掛けてステレオ・コーラスの効果を生み出している。Ⓑの部分、原曲は譜面よりもオクターヴ下の音をギターは弾いている。これはヴァイが７弦ギターを使用しているためだ。恐らく７弦を低いＤ音にチューニングしてあるのだろう。譜面ではノーマルなギターで弾けるように、オクターブ上の音に直してある。Ⓔ Ⓕ Ⓖ Ⓗとギター・ソロが続くが、Ⓔの13〜15小節目では、ディレイを４分音符のタイミングで掛けている。Ⓕは２本のギターで掛合いのような演奏を行なっている（これもツイン・ギターを意識したヴァイの演奏と言える）。

Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
Dm
Gm(on D)
B♭(on D)
C(on D)
134

Dm
to Φ
Vocal
Time will show if you an' I Will walk that road to-ge-ther Through
Trying to leave the past be kind Still look-ing for some peace of mind
Other
Guitar I
Pick Scratch
Pick Scratch
Guitar II
P
Bass
Drums
136
B
Dm
Gm(on D)
Bb(on D)
C(on D)
fire an' wa-ter, ice an' snow Hea-ven a-bove us an' Hell be-low
des-ti-ny brought us to-ge-ther (An') pro-mised a time that would last for-e-ver
<7strings Guitar>
8va bassa

Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
Am
C
Bb
Like a fire for-e - ver burn - ing A flam - ing heart that's yearn-
8va
F
Dm
F
C
F
Bb
to
- ing, more an' more A - lone to keep us warm On the wings of the
<7strings Guitar>
8va bassa
(8va)

A
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
vib.
140
(Delay)
8va

A | F Bb | A | Dm | F

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Pick Scratch

8va

H R.H. P C D C+D

Bass

Drums

Bb | A | Dm | | Bb

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

C.D+C

Bass

Drums

A
Dm
F
B♭
A
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
G
F
C

G D [H] A

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

A Dm

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
Dm
I
Dm
Gm(on D)
(8va)
Bb(on D)
C(on D)
Coda ①
Dm
- ther
Coda ②
F
C
wings of the
<7 Strings Guitar>
8va bassa
D.S. ①
D.S. ②

Dm
Gm(on D)
B♭(on D)
C(on D)
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
8va
H+P
S
C
K

Dm Gm(onD) B♭(onD) C(onD)

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

Dm Gm(onD) B♭(onD) C(onD)

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

Dm
Gm(on D)
B♭(on D)
C(on D)
Vocal
Other
Guitar I
Guitar II
8va
Bass
Drums
148
F.O.

STAY WITH ME

ステイ・ウィズ・ミー

Words & Music by Jerry Ragovoy and George Weiss

3拍子系のリズムを持ったブルージーなナンバー。12／8拍子で出来ているが、かなり遅いテンポなので、表記上は6／8拍子となっているので注意しておこう。ギターはGt-1がバッキング、Gt-2がソロやオブリのパートに分けてみた。Introはこの曲のメインとなるコード・バッキングでのリフ。パワー・コードを中心としたシンプルなものだが、3小節目では2弦6ｆのＦ音から5ｆのＥ音という動きを強調して弾くこと。Ａはバッキングというよりはオブリガード的なアプローチだ。コード・トーンを意識しながらのフレージングをよくチェックしておこう。12、13小節目は3、4弦の5ｆをキープしながら、5弦3ｆからベース音が下がっていくというアルペジオ・パターン。C(onB♭)の時にかなり指が開く形になってしまうが、指が届きにくいという人はB♭音を5弦1ｆではなく、6弦6ｆにしてみるといい。次のＡ音も6弦5ｆにすればスムーズにフィンガリング出来ると思う。Ｄの8小節目のGt-2はハンマリング・オンを使ったかなり速いフレージング。タイミングが遅れないように気をつけよう。Ｅの1小節目の3拍目Gt-2のチョーク・アップは半音。ベンドする音程をしっかりチェックし、指にその感覚を覚え込ませてしまおう。ベースはこの曲でのノリを支える重要なパート。3拍子系でのリズムであり、なおかつ16分音符がハネていて、かなり難しいかも知れない。休符もしっかりと意識出来るとベストだ。ドラムは、まず6／8拍子のリズムに慣れておくこと。譜面で見ると細かくて分かりづらそうだが、見た目よりはプレイしやすいと思う。細かく動くバスドラ(特にＦ)には注意しておくように。

C
B♭(9)
A
F
G(on F)
Vocal
Where did you go
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
B♭(on F)
F
B♭
Am
When things went wrong ba - by
And who did you run to
To

a tempo
C
B
F
B♭
C
B♭
F
B♭
Vocal
leav - ing me
Oh
Stay
with me
ba - by
Stay
with me
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
rit.
152
C
B♭
F
B♭
C
B♭(9)
ba - by
Won't you stay
with me
ba - by
I
can't
go
on

C(on A) C(on G) C *a tempo* D F B♭

Vocal

for you Oh no I can't be - lieve you're leav - ing me Oh ___ Oh ___ Stay ___ with me

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

rit. - -

E
F
B♭
C
B♭
F
B♭
Vocal
on
Guitar I
Guitar II
H.U
D
H+P
Bass
Drums
156
C
B♭
F
B♭
C
B♭
Re - mem -
(8va)

C
B♭
F
B♭
C
B♭
F
B♭
Vocal
- by
Stay with me ba - by
Won't you stay with me
Guitar I
Guitar II
Bass
Drums
C
B♭
ba - by I can't go on can't go on
yeah